

Asahi-Seiki

第75期 報告書

2023年4月1日 ~ 2024年3月31日

旭精機工業株式会社

証券コード：6111

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第75期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

取締役社長

神谷 真二



Q 事業の全般的状況についてお聞かせください。

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まり社会経済活動の正常化への動きが進む一方で、国内金利の上昇や中国経済の先行き懸念とともに、ウクライナ情勢の長期化に加え中東地域をめぐる情勢及び物価上昇などの影響もあり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと当社におきましては、精密金属加工品、小口径銃弾及びばね機械などの売上が増加したものの、プレス機械及び自動機・専用機の売上が減少したため、売上高は131億4千3百万円と前期比0.3%の増加にとどまりました。利益面につきましては、取引先からの受注取消しによる棚卸資産の評価損を売上原価に計上したことなどから、誠に遺憾ながら、営業損失4千4百万円（前期は3億4千8百万円の営業利益）、経常利益は前期比99.8%減少の0百万円となりました。当期純利益につきましては、当該受注取消しに伴う受取補償金を特別利益に計上し、税効果を勘案した結果、前期比61.3%減少の1億1千4百万円となりました。

Q 今後の見通しについてお聞かせください。

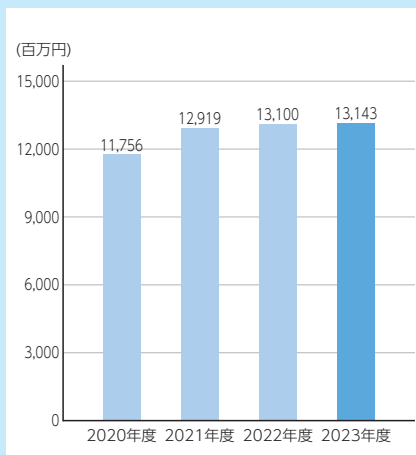
今後のわが国経済は、国内金利の上昇、中国経済の先行き、ウクライナ情勢や中東地域の動向、物価の上昇等懸念材料が少なくなく、引き続き先行き不透明な状況が続くものと思われます。

このような情勢のもと、当社は、経営基盤を強化し、市場環境の変化を踏まえた事業活動の展開、当社総合力の発揮及び新事業の開拓を推進して、将来の成長に向け鋭意努力してまいります。

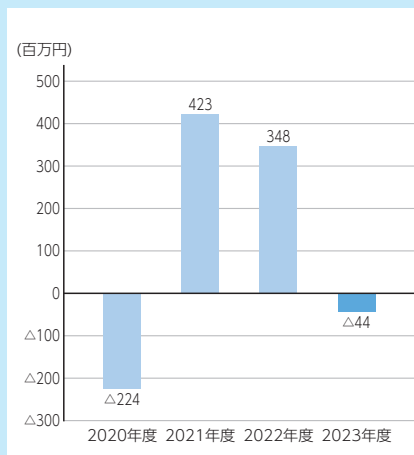
翌期（2024年度）の業績見通しにつきましては、売上高145億円、営業利益3億4千万円、経常利益4億2千万円、当期純利益3億円を見込んでおります。

財務ハイライト

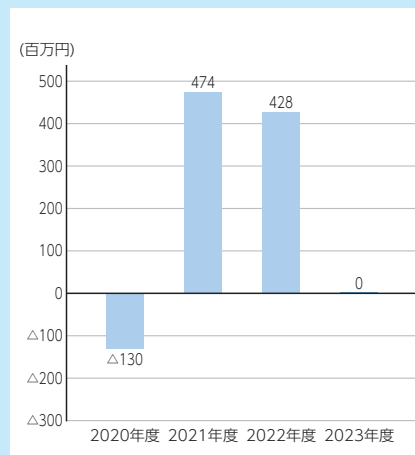
売上高



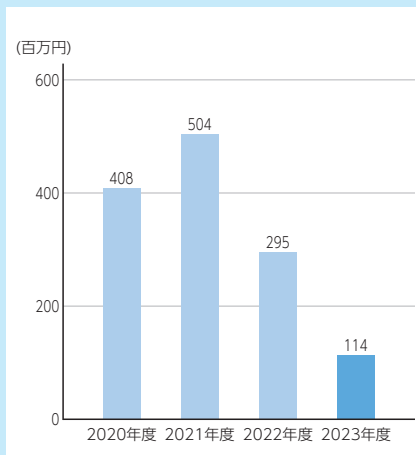
営業利益又は営業損失 (△)



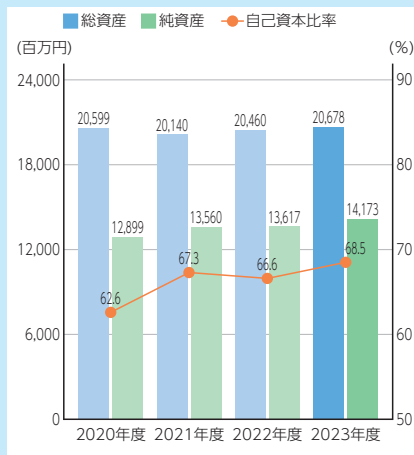
経常利益又は経常損失 (△)



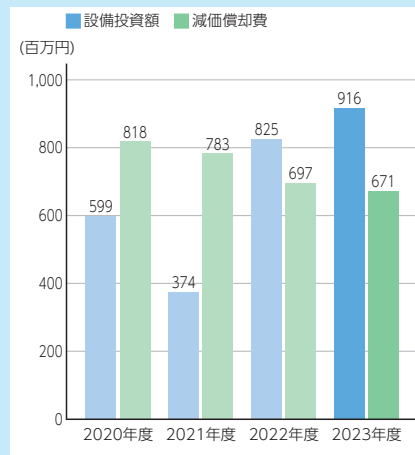
当期純利益



総資産・純資産・自己資本比率



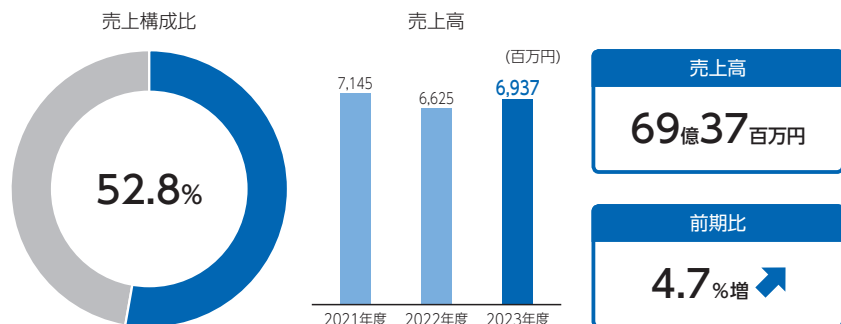
設備投資額・減価償却費



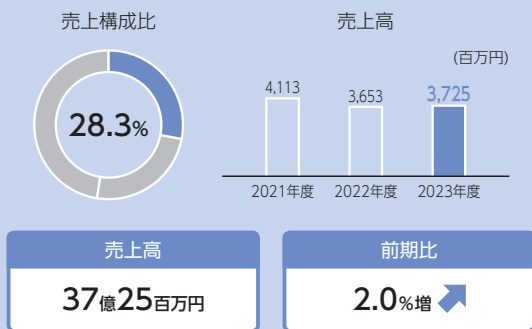
セグメント別概況 *SEGMENT OVERVIEW*

■精密加工事業部

精密加工事業部は、機械事業部で開発されたトランスファープレスを駆使し、金属の塑性加工技術である「深絞り」を長年磨き続け、高度な技術を蓄積してきました。金型の設計から加工・後処理までの一貫生産体制、充実した生産設備・検査機器、IoTを導入した生産現場、国際認証規格を取得した厳格な品質保証体制により、他に類を見ない高精度・高品質での安定供給を実現しております。

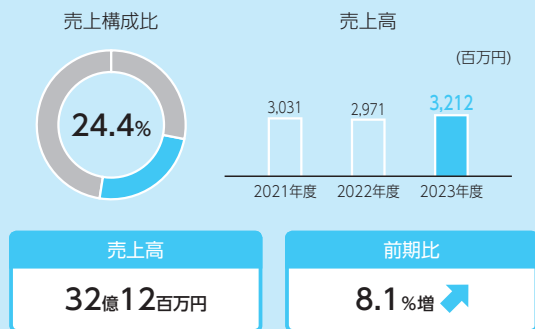


精密金属加工品



当期の売上高は、水晶振動子関連部品が減少したものの、自動車関連部品や安全関連部品が増加したことから、37億2千5百万円と前期比2.0%の増加となりました。

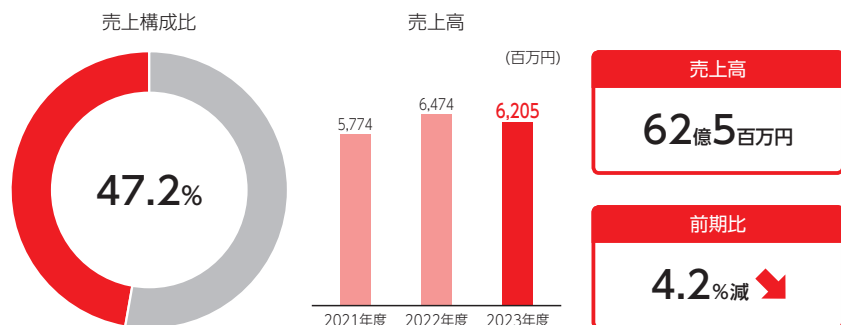
小口径銃弾



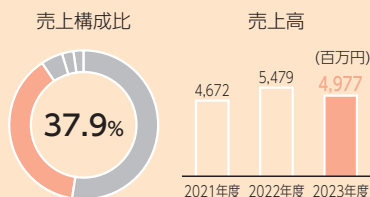
当期の売上高は、政府の予算執行を受け、32億1千2百万円と前期比8.1%の増加となりました。

■機械事業部

機械事業部は、プレス機械、ばね機械と自動機・専用機という異なるジャンルの機械・装置を開発・製造しています。全く異なる技術のシナジー効果を最大限に発揮し、我々にしかできない機械・サービスの提供を通じて、様々なお客様のニーズ・ご要望にお応えしています。

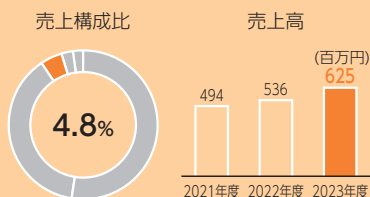


プレス機械



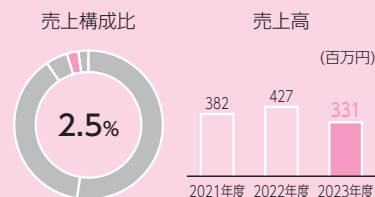
当期の売上高は、電気自動車 (EV) 向けのリチウムイオン電池缶製造用プレス機械の売上減により、49億7千7百万円と前期比9.1%の減少となりました。

ばね機械



当期の売上高は、大型機の売上があったほか顧客からの補修や改造等の依頼が増加したため、6億2千5百万円と前期比16.5%の増加となりました。

自動機・専用機



当期の売上高は、小型機中心の売上構成となったため、3億3千1百万円と前期比22.5%の減少となりました。

当期においては、搬送装置にスポット的な売上があったため、「その他」売上が2億7千万円と前期比779.4%の増加となりました。

貸借対照表 (単位：千円)

前期 2023年3月31日		当期 2024年3月31日		前期 2023年3月31日		当期 2024年3月31日	
総資産 20,460,440		総資産 20,678,004		負債及び 純資産 20,460,440		負債及び 純資産 20,678,004	
現金及び預金 4,074,018	流動資産 13,014,288	現金及び預金 3,985,346	流動資産① 12,141,831	流動負債 5,900,998	負債 6,842,859	流動負債③ 5,364,543	負債 6,504,840
有形固定資産 4,722,022	固定資産 7,446,151	有形固定資産 4,973,673	固定資産② 8,536,172	固定負債 941,861	株主資本 12,526,537	固定負債③ 1,140,296	株主資本 12,466,720
投資その他の資産 2,661,832		投資その他の資産 3,508,301		純資産 13,617,580	評価・換算差額等 1,091,043	純資産④ 14,173,163	評価・換算差額等 1,706,442

Point

① 流動資産

前期末に比べ8億7千2百万円減少し、121億4千1百万円となりました。これは主に、電子記録債権が5億4千4百万円、受取手形が1億6千8百万円それぞれ増加したものの、棚卸資産が10億3千2百万円、売掛金が3億9千9百万円それぞれ減少したためです。

② 固定資産

前期末に比べ10億9千万円増加し、85億3千6百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が1億6千1百万円減少したものの、投資有価証券が8億4千3百万円、建物が2億7千3百万円それぞれ増加したためです。

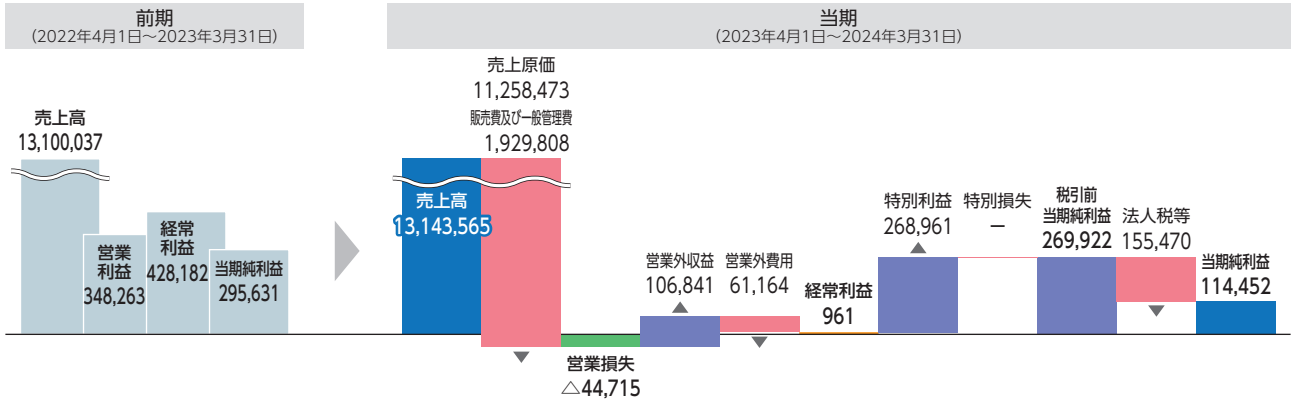
③ 流動負債及び固定負債

流動負債は前期末に比べ5億3千6百万円減少し、53億6千4百万円となりました。これは主に、短期借入金が4億円増加したものの、電子記録債務が8億3千万円、買掛金が1億9千万円それぞれ減少したためです。また固定負債は前期末に比べ1億9千8百万円増加し、11億4千万円となりました。これは主に、繰延税金負債が2億5千万円増加したためです。

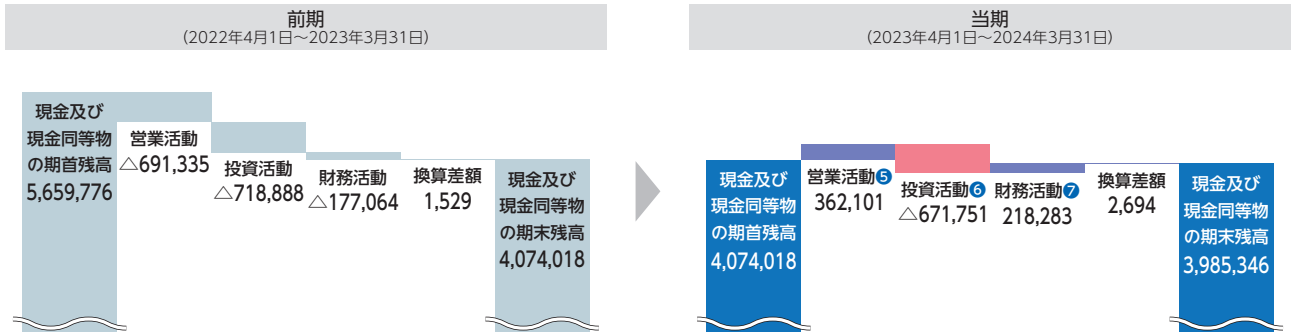
④ 純資産

前期末に比べ5億5千5百万円増加し、141億7千3百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が6億1千5百万円増加したためです。

■損益計算書 (単位：千円)



■キャッシュ・フロー計算書 (単位：千円)



Point

⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

主に、仕入債務の減少により13億6千3百万円及び売上債権の増加により3億1千3百万円減少したものの、棚卸資産が10億3千2百万円減少したこと、減価償却費で6億7千1百万円及び税引前当期純利益で2億6千9百万円計上したことにより、資金は3億6千2百万円増加しました。

⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に、有形固定資産の取得で5億9千6百万円支出したことにより、資金は6億7千1百万円減少しました。

⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に、配当金で1億7千3百万円支出したものの、短期借入金で4億円増加したことにより、資金は2億1千8百万円増加しました。

新組立工場の竣工

2024年2月14日に新たな組立工場の竣工式を執り行いました。

この新組立工場は、2018年9月に竣工した大型プレス機械の組立工場である第3組立工場に直結させ第4組立工場と命名し、また大型プレス機械の部品製造工場である第6機造工場とも連結させており、大型プレス機械生産の3工場の連結を実現させました。



第3組立工場

新組立工場 (第4組立工場)

第6機造工場



▲第4組立工場外観

第4組立工場では、大型プレス機械の生産のための高重量部品等のスムーズな移動のため、第3組立工場と同様に60tホイスト式天井クレーンを導入するとともに、30t無軌道台車を導入いたしました。また第4組立工場と第6機造工場の高低差への対応のため、同工場との連結箇所に高重量部品を積載した30t無軌道台車を乗せることができるフロアリフターも設置し、大型プレス機械の部品製造から組立までに必要となる3工場間の部品等をスムーズ且つ迅速な移動等が可能となりました。

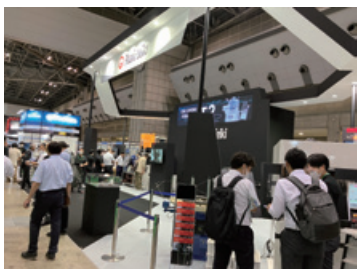


▲フロアリフター

世界的な自動車の電動化が進む中、車載用電池の大容量化等がより求められており、それにともない車載用リチウムイオン電池缶の大型化も進んでおります。第4組立工場は、車載用リチウムイオン電池缶製造用として今後多くの需要が見込まれる当社の大型プレス機械の生産体制の強化及び納期短縮に大きく貢献するものと期待しております。

MF-TOKYO 2023 第7回プレス・板金・フォーミング展への出展

2023年7月12日～7月15日までの4日間、東京ビッグサイトで開催されましたMF-TOKYO 2023 第7回プレス・板金・フォーミング展に出展いたしました。本展示会は、日本国内最大級の鍛圧機械の国際展示会です。



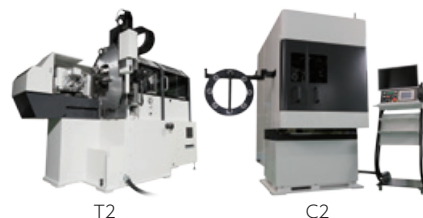
本展示会で当社は、ばね機械「T2」、「C2」を中心に当社の最新モデル4機種種の展示に加え、当社のIoTへの取組についてご紹介いたしました。

会場中央に展示した「T2」には平角銅線の被膜を剥離するユニットを搭載し、xEV市場をターゲットにバスバーの成形実演を行いました。

「C2」は、ばねの成形工程を全自動化することに加えAI機能を搭載することにより、調整の大幅な簡易化と驚異的な再現性・安定生産を実現させ、若手への技術伝承に苦慮されている多くのスプリングメーカー様より多大なる評価をいただきました。

またIoTへの取組として、未来型の生産現場の実現に向けて目下開発中である「設備監視システム」や「故障検知システム」等を紹介いたしました。

今後も継続的な付加価値の創造に誠意努力してまいります。



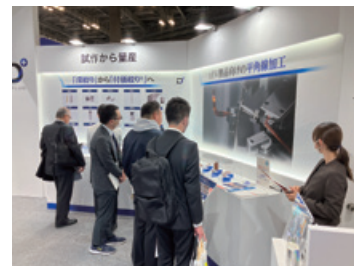
オートモーティブワールド2024への出展

2024年1月24日～1月26日までの3日間、東京ビッグサイトで開催されましたオートモーティブワールド2024に出展いたしました。本展示会は、クルマの先端技術をテーマとした世界最大の展示会です。

本展示会で当社は、板材から中間焼鈍を行わずL/D=66（円筒形等のプレス製品の全長が製品外径の66倍）という業界最高水準の「超深絞り」をはじめ、製品の両端面にしごき加工を施す「両端面しごき」などのプレス加工品を展示しました。また新しい試みとして、当社ばね機械によるフォーミング加工で製造されたバスバーやコイルを展示いたしました。



バスバー



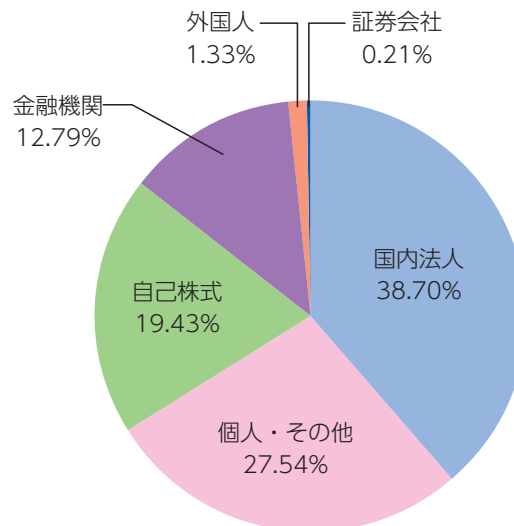
バスバーの展示では、自動車の電動化が進む昨今、注目を集めていることもあり、特に多くの来場者様からご好評いただくことができました。

株式の状況 STOCK INFORMATION

(2024年3月31日現在)

■発行可能株式総数	5,824,900株
■発行済株式の総数	3,088,739株
■株主数	2,562名
■1単元の株式数	100株
■大株主	

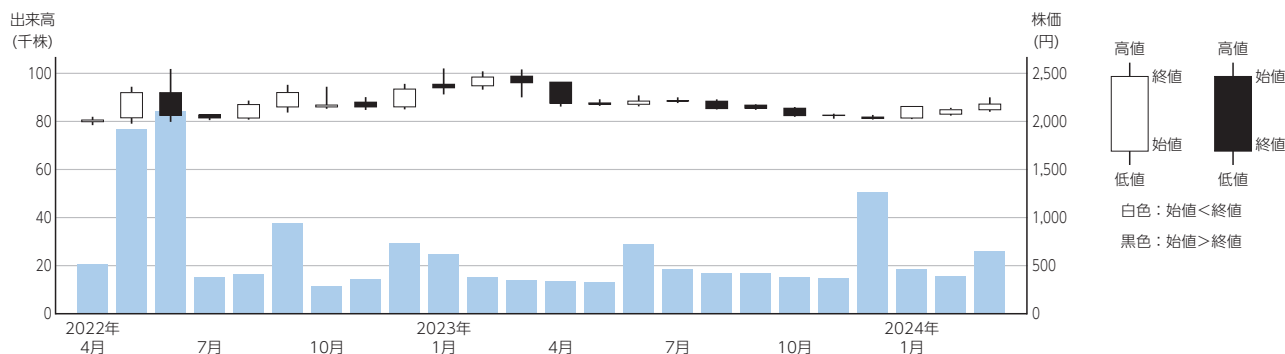
■所有者別株式分布 (2024年3月31日現在)



株主名	持株数(株)	持株比率
古河電気工業株式会社	455,800	18.31%
岡谷鋼機株式会社	164,600	6.61%
旭化成株式会社	148,900	5.98%
オークマ株式会社	120,000	4.82%
三谷伸銅株式会社	119,073	4.78%
株式会社三菱UFJ銀行	106,084	4.26%
東京海上日動火災保険株式会社	86,515	3.47%
株式会社みずほ銀行	56,507	2.27%
株式会社名古屋銀行	45,000	1.80%
あさひ持株会	42,435	1.70%

(注) 持株比率は、自己株式(600千株)を控除して計算しております。

■出来高及び株価の推移



会社の概要 *COMPANY OVERVIEW*

■会社概要 (2024年3月31日現在)

商号 旭精機工業株式会社
(ASAHI-SEIKI MANUFACTURING CO.,LTD.)
設立 1953年8月11日
資本金 41億7千5百万円
事業内容 精密金属加工品、小口径銃弾、プレス機械、ばね機械、自動機・専用機等の製造及び販売
従業員数 481名
拠点
本社・工場 〒488-8655
愛知県尾張旭市旭前町新田洞5050番地の1
TEL (0561) 53-3112(代表)
東京支店 〒113-0034
東京都文京区湯島一丁目6番3号
TEL (03) 5805-6991
大阪営業所 〒564-0063
大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号
TEL (06) 6368-6251
ドイツ駐在員事務所 Oststrasse 54 D-40211 Düsseldorf, Germany

■取締役及び監査役 (2024年6月26日現在)

取締役社長 神谷 真二
常務取締役 工野 浩義
常務取締役 白石 憲生
取締役 松原 幸弘
取締役 石村 淳
取締役 青木 潤
取締役 坂野 彰
社外取締役 荻原 弘之
社外取締役 山脇 宏
常勤監査役 金 厚博
社外監査役 馬場 紀彰
社外監査役 中尾 誠志

株主優待のご案内

対象となる株主さま

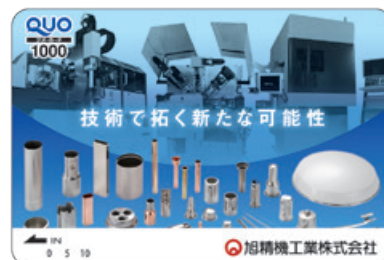
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された100株（1単元）以上保有の株主さまを対象とさせていただきます。

優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上	QUOカード 1,000円分

謹呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。



■株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 配当金受領株主確定日 3月31日
- 公告方法 電子公告 (当社ホームページをご覧ください。)
<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>
- 株式上場市場 名古屋証券取引所(メイン市場)
- 証券コード 6111

■株式に関するお手続きについて

■各種のお手続き、ご照会等のお問い合わせ先は以下のとおりです。

お手続き、ご照会等の内容	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式
住所・氏名の変更	お取引の証券会社	三菱UFJ信託銀行 証券代行部
単元未満株式の買取・買増請求		
配当金の受領方法の指定・変更		
特別口座から証券口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部	
支払期間経過後の配当金に関するご照会		
郵送物等の発送と返戻に関するご照会		
その他のお問い合わせ		

■三菱UFJ信託銀行 証券代行部の連絡先等は以下のとおりです。

- 郵便物の送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
- 電話でのお問い合わせ先 0120-232-711 (通話料無料)
- 手続き書類のご請求方法 インターネットによるダウンロード <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

旭精機工業株式会社

旭精機工業

検索 

<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

